

大事協だより

大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第45号
2014年6月27日発行

新年度が始まり2ヶ月が過ぎました。新年度事務も落ち着き、各地区においては新しいメンバーと有意義な業務・研修が行われていることと思います。今年も教育活動への貢献のために頑張っていきましょう！

○大事協は次のような意義のもと
設立・活動しています○
○御確認をお願いします○
**<協会設立の基本理念に則り、
更なる発展を目指して活動する。>**

- ①大島地区小・中学校事務職員全員参加の「輪(わ)」を目標とする。
- ②本会は、地区内の緩やかな繋がり親睦・融和・資質向上を目指す。
- ③大島地区内における情報交換の場とする。
- ④実務研修の充実を図る。

<会長あいさつ>

犬田布中学校 加川純男

大事協総会への参加、ありがとうございました。理事会で多くの意見を出させていただき、感謝しています。新理事の方は会員への周知と会員からの要望等を集約していただき、理事会で議論できれば、大事協の活性化ができると思います。

全員で、大事協の基本理念を目指して、いきたいと思えます。

<平成26年度 大事協役員>

本年度の役員が総会で承認されました。

職名	氏名	勤務校
会長	加川 純男	犬田布中学校
副会長(総務)	金森 永光	緑が丘小学校
副会長(研修)	藤崎 久子	伊津部小学校
書記	本田 英子	龍北中学校
会計	今村 美紀	龍南中学校
監事	宇検村から選出	
監事	瀬戸内町から選出	

☆第9次県費事務改善検討委員会委員

江平 禪(犬田布小学校)

どうぞよろしくお願ひします

<交流会 会計報告> 報告担当:会計 今村 美紀

今年度も、第1回大島地区小・中学校事務職員研修会終了後、交流会が開催されました。

御参加、ありがとうございました。

(収入) 参加費 4,000円 × 75名分 = 300,000円
(会員68名, 補助1,000円 × 68名分)

(支出)

料理代 2,703円(税抜) × 75名分 = 202,725円
飲み物代 1,000円(税抜) × 74名分 = 74,000円
消費税 22,138円
(当日1名キャンセルのため、1名分は料理代のみ支払い)
計 298,863円

(収支) 300,000円 - 298,863円 = 1,137円

→ 大事協会計へ

○今号は宇検村に編集していただきました。ありがとうございました。次号は10月発行予定です。よろしくお願ひします。○

<各地区からのお便り>

今回の原稿は、①知名町②天城町③瀬戸内町からいただきました。

お忙しい中、ありがとうございました。

① 知名町事務職員会

知名町立上城小学校 上三垣 健士郎

知名町事務職員会は小学校5名、中学校2名の計7名で構成されています。今年度は1名の入れ替わりで新規採用者を迎え、ベテラン1名・中堅2名・若手4名でのスタートとなりました。知名町は毎年新規採用者が配置されることもあり、新採1年目から4年目までがひとりずついるという若手主体の状況になっています。

研修会は、町内の各校を会場にして行われる会が7回と、お隣の和泊町と合同で行われる両町研修会が3回の計10回あります。研修内容としては、やはり若手事務職員支援が大きなウェイトを占め、そのほか事例研修や町費事務関係の情報交換などを行っています。昨年度の成果として、『町費事務マニュアル』の全面改訂があります。各事務職員が役割分担して実際の町費の現状や実績などに合わせて改訂したことで、これまでより町費事務に取り組みやすくなりました。今後もマニュアルの内容を煮詰め、より良いものにできたらと考えています。

また、支援室業務(共同実施)は25年度より始まり、今年で2年目を迎えました。主な内容として、今年度本格稼働した「給与データ収集・配信システム」の入力内容等の相互チェックがあり、給与の誤支給防止に努めています。支援室業務1年目は慣れないことばかりで手探りの状態でしたが、お互いが連携し協力し合うことで業務の確立を徐々に図っていきたくと考えています。今後とも知名町事務職員会をよろしくお願ひします。



②天城町事務職員会 天城町立天城小学校 重信 彩香

こんにちは。天城町事務職員会です。

天城町はとても自然豊かで、夏が近づくと、真っ青な海がとても印象的です。6月末には、徳之島の一大イベントであるトライアスロンが行われるなど、文化やスポーツがとても盛んな町です。

このような天城町には、小学校が4校、中学校3校、分校が2校あります。平成26年度は1名の転入があり、6名で新たなスタートを切ることとなりました。経験の浅い事務職員が多いですが、分からないことはお互いに相談し合い、協力しながら日常の事務を進めています。

今年度は「学校事務の共同実施の相互支援のあり方～実践的な取組を通して研修を深める～」という研修テーマのもと、活動を行っています。主な活動として、月2回の共同実施、年3回の研修会があります。共同実施では、天城小学校に集まり、手当認定審査や給与例月報告・旅費請求事務の相互点検、町費事務などを行っています。また、いつも温かい雰囲気でも業務が進み、情報交換を行い、職員同士で取り組みを学ぶうちに、「明日からも頑張ろう！」と元気をもらえる場もあります。また、年3回、徳之島町、伊仙町、と合同での研修会も行っています。それぞれの町の共同実施・研修会の開催についての様子や事例など、情報交換をし、研修を深めています。

このように、研修会等を通して、コミュニケーションを大切にしながら、よりよい天城町事務職員会になるように取り組んでいきたいと思っています。今年度もよろしくをお願いします。



③瀬戸内町事務職員会 瀬戸内町立篠川小学校 馬場宏知

こんにちは。瀬戸内町事務職員会です。

平成26年度は、4名転出4名転入で昨年度と同じく8名でのスタートとなりました。構成は専門員2名、事務主査1名、事務職員1名（内1校目1名）、期限付き職員4名となっています。また小学校12校、中学校10校の計22校あるため、8名中7名が兼務校を抱えており、6校兼務1名、4校兼務1名、3校兼務1名、2校兼務4名、という状況です。また、大島海峡をへだてて有人の島が加計呂麻島、請島、与路島とあるため、4名が船で移動を行い会を開催しています。

主な活動内容として、『瀬戸内町立小・中学校事務職

員研修会』と、『瀬戸内町立小中学校事務支援会』があります。そのほか、合同自主検査を年4回、管外研修を計画しています。

『瀬戸内町立小・中学校事務職員研修会』では、当班が旅費・給与・福利厚生などの事例研修の資料を準備し、より実践的な研修会を目指して活動しています。

『瀬戸内町立小中学校事務支援会』では、手当認定の相互審査や認定事務に関する意見交換を主として行っています。本町では平成25年11月1付で兼務辞令があり共同実施がスタートしました。兼務校数、8名の事務職員数、離島の離島を抱えているという地理的条件等もあるためか、支援室は一室であり、21校分の兼務辞令となっています。

支援室は消耗品のほか、パソコン、プリンタ、スキャナ等を完備して頂いたため、研修会の会場も前年の公民館から支援室に変更しました。今後、研修会、支援会がより一層充実していきたく思います。

少ない人数ですが、元気よく頑張っていきますのでどうぞよろしくをお願いします。



～ 平成26年度 新規採用者より ～

知名町立田皆中学校 下醉尾 怜

赴任してから早くも二ヶ月が経とうとしている。その間しっかり仕事をしたという実感がまるで無い。研修・出張ばかりの二ヶ月であったし、湧いて出てくる仕事にマニュアルや資料を棚から探すことで精一杯な2ヶ月だった。

研修では、先輩事務職員から「もう仕事に慣れた？」と聞かれても、分かりませんと答えることに慣れてしまった。しかし、そのような日々を過ごすことができる私は恵まれているのだ。このように仕事がうまくできなかつたり、遅かつたりする状況の中でもやっていけているのは、近隣の学校に一から十まで教えてくださるベテランの先生や、公私問わず気にかけてくださる教頭先生のような方がいてくださるからである。さらには気軽に飲みを誘える友人もでき、沖永良部に赴任できて心から良かったと感じている。

まだ、私は「頼りない」「分からない」「掴めない」のないないばかりの教職員であるが、これから正しく、速く、美しく仕事ができるような事務職員を目指し、励んでいくつもりだ。そして、大島郡だからこそその楽しさ、難しさを在任中に思いっきり経験し、人生の宝にしていきたい。